

この度はSeymour Duncan Andromeda -Dynamic Delay- をお買い求め頂き誠にありがとうございます。この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐ見ることができるよう、手元に置いて下さい。

Andromedaはトラディショナルなクラシックサウンドにユニークなダイナミックコントロールを備え、クリエイティブなギタリストに最適なプログラマブル・デジタルディレイです。さりげないエフェクトから効果音まで多種多様な使い方が可能で、従来のデジタル・ディレイとは比べ物にならない程、コントロールに幅を持っています。

音色はデジタル・ディレイ/アナログ・ディレイ、2種類ディレイタイプが選択可能。それぞれにNormal ディレイ、Ping Pong ディレイ、Reverse ディレイ、Reverse Pong ディレイと4つのエフェクトがありますので、合計8種類のディレイサウンドが使用できます。ディレイ音はトーンノブで高音域のキャラクターを変更でき、さらにサチュレーションコントロールやモジュレーションノブ、これらを使用する事で、より深みのあるディレイサウンドを作り出すことができます。そしてAndromedaの持つ一番の特徴はDynamic Expression™機能が搭載されている点で、ピッキング・アタックの強弱によりエフェクトが掛かる割合をリアルタイムでコントロールする事が可能です。ハードモードまたはソフトモードを選び、さまざまなコントロールをどのように設定するかによって、無限のバリエーションが得られます。これらの設定・確認に必要なツマミやインジケータはすべてエフェクター 上部にあり、難しい設定を液晶画面内でもすることも無く、簡単に作業することができます。また、本体横のマイクロUSBポートを使用して、アップデート/ライブラリアン ソフトウェアに接続し、製作したプリセットに名前をつけバックアップデータとして保存可能です。データはPC内に保存され、これを様々なWEBフォーラムなどで公開する事によりセッティングの共有ができます。

Andromedaは他のペダルと同様に、様々なDuncan Pickupを創りあげたチームによりカリフォルニア・サンタバーバラの自社工場にて製作されています。

各部の名称と働き

- 1.DELAY TYPE SELECTOR:** ディレイタイプを8種類より選択します。
- 2.PRESET DISPLAY:** 現在使用しているプリセットナンバーを表示します。
- 3.BANK BUTTON:** 押すごとにバンクチェンジをします。バンクナンバーは1〜32まで切り替わります。
- 4.PRESET BUTTON:** 押すごとに A / B / C / D とプリセットが切り替わります。

SAVE FUNCTION (設定保存方法)

バンクボタンとプリセットボタンを同時に押すと、ディスプレイに表示されているナンバーが点滅し始めセーブモードになります。

セーブモードの際、バンクボタンとプリセットボタンを使い保存したいプリセットナンバーが変更できます。保存先を決定し、再度バンクボタンとプリセットボタンを同時に押すことで保存が完了します。

5.FEEDBACK KNOB: ディレイ音の繰り返し回数をコントロールするノブです。

右に回すにつれて回数が多くなり、右に回しきると無限ループ状態になります、アナログディレイモードの際はフィードバック状態になり徐々に音量が大きくなります。

6.DELAY TIME KNOB: ディレイ・タイムをコントロールするノブです。

右に回すにつれてディレイ・タイムが長くなります。

本機右下にあるタップスイッチを使用し演奏中にリアルタイムでディレイ・タイムを設定する事も可能です。

7.TAP VALUE KNOB: ディレイ・タイム・ノブ、またはタップスイッチで設定したテンポに対して、実際のディレイ・タイムを4分・付点8分・8分・8分3連と変化させます。

8.THRESHOLD KNOB: ダイナミック・エクスプレッション機能の感度を調整するノブです。

LEDはアサインした音色がブレンドされる割合が多いほど明るく点灯し、少ない場合は暗くなります。

9.HARD/SOFT/OFF BUTTON: HARD MODE / SOFT MODE / Dynamic ExpressionのOFFを切り替えるスイッチです。

- HARD MODE:** 入力レベルが高くなるほどアサインした項目がミックスされます。
- SOFT MODE:** 入力レベルが低くなるほどアサインした項目がミックスされます。
- OFF:** Dynamic Expression MODEを使用しません

10. EXPRESSION ASSIGN BUTTON: Dynamic Expressionにアサインするパラメーターを選択します。

- MIX:** DRY音とWET音のMIXレベルをアサインします。
- MOD:** MODULATION音のMIXレベルをアサインします。
- SATURATION:** ディレイ音にかかるSATURATIONレベルをアサインします。

11.SATURATION KNOB: ディレイ音のゲインを調整します。

右に回していくにつれWET音に歪みとざらつきを加え、テープエコーのサチュレーションを再現した音色に変化させます。

12.TONE KNOB: WET音のトーンを調整します。

右に回すにつれ高音域が強調され明るくクリアなトーンに変化します。

13.MODULATION KNOB: WET音にブレンドするコーラス・エフェクトの量を調整します。

14.MIX KNOB: DRY音とWET音のバランスを調整します。

右に回しきるとWET音のみの出力に、左に回しきるとDRY音のみの出力になります。

15.TRAILS BUTTON: エフェクトOFFの際、WET音の残響ON-OFFを選択します。

- ON:** エフェクトOFF時にWET音が残る、シグナルはバッファを通過して出力されます。
- OFF:** エフェクトOFF時にWET音が残らず、トゥルーバイパスになります。

16.BYPASS SWITCH: エフェクトのON/OFFを切り替えます。

デジタル・ディレイ選択の際、バイパススイッチを踏み続ける事によりWET音をHOLDする事が可能です。アナログ・ディレイ選択の際にはフィードバック状態になり、WET音が徐々に大きくなります。

17.TAP/PRESET FOOT SWITCH: タップテンポ入力、またはプリセットを切り替えます。

TAP: 2回以上スイッチを踏むことでタップテンポを入力します。

PRESET: スイッチ上部のLEDが点滅から点灯に変わるまでスイッチを踏み続けることによりプリセットモードとなり、プリセットを変更できます。プリセットを変更せず2秒経つとタップスイッチの機能に戻ります。